

搾乳ユニットの数を増やすよりも、搾乳時間の延長で乗り切れ

酪農場での「搾乳と経営」に関する事を言い表した言葉です。

つなぎ牛舎での規模拡大に伴い、搾乳時間の延長が想定される。その時に搾乳ユニットを増やして対応するのではなく、頭数が増えたのだから搾乳時間は延びると考えて対応すべきである。

つなぎ牛舎の増築をし、それに伴って搾乳ユニットを増やす人が多い。しかし、搾乳人数は増えないので、ユニットを多くしたからといって搾乳が早く終わる保証はない。かえって多く持っても遊んでいるユニットが増え、忙しく広い範囲を人が動き回るだけで、搾乳は早く終わらない。

実験で行ってみても、少ない台数を遊ばないようにして使用していた方が早く終わる。1名で3台持つよりも、2台で遊びなくまわした方が早い。ユニットが牛に付いている時間は早くはならないが、装着のタイミングが良くなれば1頭当たりの搾乳時間は短くなる。

さらに2名で6台を管理するよりも、1名で3台を管理した方が早くなる。責任を持つ事が重要で、誰かが外してくれるではいつまでも過搾乳をするだけである。搾乳場所を分担するだけでも早くなる可能性はあるが、朝晩で場所を交代し、それぞれの牛の状況をしるべきである。

搾乳場所を分担しただけで、搾乳時間が30分短縮した経験がある。搾乳作業にも労働効率を考えるべきであろう。



クローのバランスは大事である。
1頭1頭確実な作業が望まれる。